

第1号

安心とやすらぎをつなぐ京悠会広報誌

さくらの森

編集・発行元 社会福祉法人京悠会 〒357-0011 埼玉県飯能市川崎458 TEL042-975-3300



”共に生きる”喜びが溢れています。咲き誇るしだれ桜の下、穏やかな表情をみせてくれました。
～2018年4月飯能市川崎の「円野」庭先で～

円野 名前の由来

「円野」呼び名は”つぶらの”です。障がい者支援施設が建っている場所の住所表示である飯能市大字川崎字円野が、その由来です。

平成14年春、土地の登記簿謄本を取り寄せ、「円野」の地名を発見し、良い地名だなあと感じました。

真和の森 名前の由来

岡田理事長が生き方や考え方に強い影響を受けた師匠3人のお名前から一文字ずついただき名づけました。

- ◆ 故・坂村 **真**民（癒しの詩人）
- ◆ 稲盛 **和**夫（京セラ名誉会長）
- ◆ 小**森** 嘉之（丸大ハム会長）

京悠会広報誌「さくらの森」発刊のごあいさつ

平成15年、社会福祉法人京悠会を設立、障がい者支援施設「円野」の地に桜の木を植樹、ここに15周年目を迎え、そのさくらの木が見事な花をつけ、今や盛りと咲き誇っています。この良き季節に京悠会広報誌「さくらの森」を発刊するにあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

日頃より、障がい者支援施設と特養ホームの運営にご理解とご支援を賜り入所者様、ご家族様、地域の皆様、行政の方々に心より、お礼申し上げます。

『共に生きる』を経営理念にし、困っている方々の「不満、不安、心配」を「満足、安心、安定」に変えるべく、職員みんなで日々努力しております。



社会福祉法人 京悠会
理事長 岡田 京子

経営組織のガバナンス強化

振り返りますと、ここ10余年で福祉を取り巻く社会情勢が大きく変わりました。また、今般の福祉関連法の一部改正により経営組織のガバナンスの強化、より公益性や透明性の確保が求められてきております。

京悠会としても組織強化のいい機会ととらえ、対応しています。

そして、この広報誌を通じて施設運営の内容を広く皆様にお伝えするべく、「さくらの森」を年4回お届けする予定でおります。

役員一同、一丸となり、京悠会の発展に精進してまいりますので重ねてご協力、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



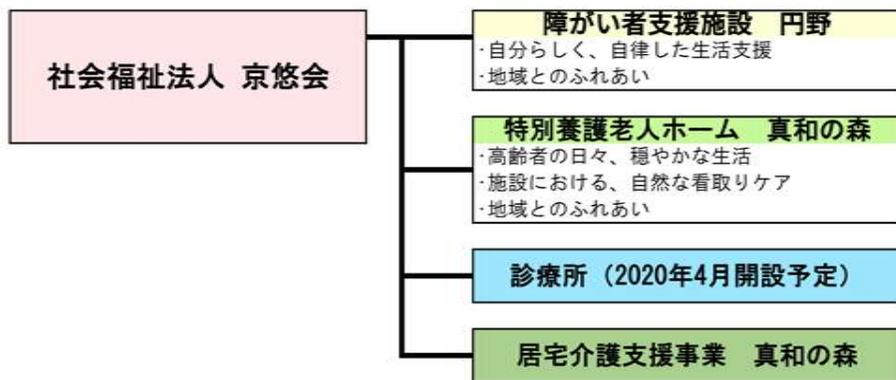
(上)円野園庭の桜たち、14年目の満開です。

マル君
平成26年4月1日入職
夜間警備、癒し 担当



京悠会が目指すもの

誰もが自分らしく安心して暮らせる地域社会を目指して、私どもは、施設運営を通じ、積極的に『考動』することを宣言します。



協力団体

公益財団法人 フォトン・ジャパンフレンド

・ 認知症相談、啓発事業 ・ 介護人材の国際交流事業

農業法人 アニムス株式会社

・ 農作物の生産、加工、販売

人生100年時代の話をも身近なところで見聞するようになりました。社会福祉法人として、現役時代をできるだけ長く伸ばして頂けようお手伝いをさせていただきます。



～1時限目～



「施設における看取りケア研修」の様子

真和の森 高齢者を支えるケア①

～「今」を輝き、喜びを感じられるように～

人それぞれの人生において、小泉元首相の「米百俵」の教え※ではありませんが、目のことだけでなく一年先・十年先のことを考えることが大事と言われています。しかし、高齢者にとっては「今日」のことが何よりも大切な場合があります。

明日のことより「今日」を楽しくという刹那的・消極的というイメージを持たれるかもしれませんが、高齢であり持病を持ち、いつ急変しても不思議ではない入所者様にとっては「今」を楽しく過ごすという行為は、相当のリスクを背負いながらの毎日なのです。従って「今」を生きているという行為は努力を要する行為であり、積極的な行為と言えると思います。

春になれば花見を、秋になれば紅葉狩りなど四季折々の移り変わりを体感したい、外出しておいしいものを食べたいなど、ごく普通のささやかな願いが介護の支援という協力がなければ叶わないのです。

「今」の生活に少しでも輝きを与えてあげたい、今日のこの時に喜びを感じていただきたい、笑顔で過ごせる時間を少しでも増やしてあげたい、「今」を楽しく生きて頂くために、尊厳を支える介護に努めてまいります。

※「米百俵」とは、幕末から明治初期にかけて活躍した長岡藩の藩士小林虎三郎による教育にまつわる故事。この逸話は、現在の辛抱が将来利益となることを象徴する物語として引用される。

看取りケアとは、近い将来、死が避けられないとされた人に対し、身体的苦痛や精神的苦痛を緩和・軽減するとともに、人生の最期まで尊厳ある生活を支援することとされています。

これまでは終末期になると、入院を余儀なくされ、少しでも生命を維持することが優先されてきました。しかし、「鼻から管を通し、体中に機器を取り付け、モニターで心拍数を確認する状況が、人道的であるのか」という意見も少なくありません。そうした状況を踏まえ、平成18年4月の介護報酬改定において「看取り介護加算」が創設されました。



その人らしい最期を迎えるために、医師の指示による疼痛緩和等の処置を適切に行い、自宅や施設で静かに死を迎える「看取り」の考えが広がりました。

障がい者支援施設 円野 『一日の流れ』

暮らしのひとこま

みんなで頑張りました！折り紙

会席料理 清河園 蜻蛉亭のお花見弁当

生活リハビリのゆるゆる体操～

5:00～	モーニングケア "おはようございます" 一日の始まりです！
7:45～	朝食
9:00～	バイタルチェック
10:00～	入浴 (月・金)、生活リハビリ
11:00～	ティータイム (R1 ヨーグルトを毎日召し上がります)
12:00～	昼食
14:00～	入浴 (月・金)、生活リハビリ、レクリエーション
15:00～	ティータイム (コーヒー、紅茶、緑茶など)
17:00～	口腔体操、夕食
21:00～	消灯 "おやすみなさい"

※希望者は随時トイレ誘導

特別養護老人ホーム 真和の森 『一日の流れ』

暮らしのひとこま

所沢市民による「民話」を傾聴しています。

おしゃれ工房 (ネイルサロン)

藤の花、咲き乱れる春爛漫

7:00～	モーニングケア "おめざめですか～"
8:00～	朝食
9:00～	生活リハビリ (ラジオ体操など)
10:00～	ティータイム (併設の花一輪も利用)
	午前・午後のいずれかで入浴 (月・木または火・金の週2回)
12:00～	昼食
13:00～	レクリエーションなど
15:00～	おやつ (併設の花一輪も利用)
18:00～	夕食
21:00～	消灯 "おやすみなさい"

※希望者は随時トイレ誘導

職員紹介



◆質問◆

- ① 仕事内容
- ② やりがいを感じる時
- ③ 思い出に残るエピソード
- ④ 好きな言葉
- ⑤ あなたの自慢できる事

古久保 算子 (こくほ ともこ)
 役職 副施設長



《お菓子作りが趣味》

- ① 相談業務、入所調整、人事関係 等
- ② 利用者の方が笑ってくれる時
- ③ 平成16年12月31日雪の中、100円ショップへ利用者に必要な物を買いに行ったこと
- ④ 愛情
- ⑤ 健康な身体

障害者支援施設
円野

岡田 和家 (おかだ かずや)
 役職 事務長



《休日も円野で過ごす》

- ① 会計、労務、法人運営 等
- ② 決算を終えた時
- ③ 10周年記念イベント
- ④ ころは高く 身は低く
- ⑤ 人に恵まれていること

岡田 俊明 (おかだ としあき)
 役職 施設長



《趣味は魚の飼育》

- ① 施設運営全般
- ② ユニットから笑い声が聞こえたとき
- ③ 大雪の中、職員が出動してくれたこと
- ④ 丁寧
- ⑤ 自由な発想

特別養護老人ホーム
真和の森

望月 佐紀子 (もちづき さきこ)
 役職 副施設長



《真和の森の元気印》

- ① 看護業務、統括マネジメント
- ② 入所者様、ご家族様、働く仲間笑顔がみられるとき
- ③ 看取りケア時の家族ドラマ
- ④ 笑う門には福来たる
- ⑤ 人に助けられて過ごしていること

新しいストーブ導入しました！

円野の各階の食堂に設置され13年間使用したストーブを最新式に入れ替えました。

見た目もスッキリして熱効率もよいドイツ製ストーブとオープンが付いていて料理も出来るイタリア製ストーブ、形や機能にもお国柄が出ている気がします。



ドイツ製



イタリア製

今後のスケジュール

◆ 円野 ◆

- 4月 お花見 (実施済み)
- 5月 こどもの日 (鯉のぼり設置)
- 6月 運動会 (6日、雨天決行)

◆ 真和の森 ◆

- 4月 お花見 (実施済み)
- 5月 こどもの日 (鯉のぼり設置) 母の日イベント (第2日曜、お化粧品&写真撮影)
- 6月 父の日 (17日、内容未定)

アクセス

障がい者支援施設 円野

〒357-0011 埼玉県飯能市川崎458

TEL042-975-3300 FAX042-975-3311

最寄り駅：高麗川駅 (八高線)

特別養護老人ホーム 真和の森

〒359-0001 埼玉県所沢市下富1206-1

TEL042-990-1133 FAX042-990-1144

最寄り駅：新所沢駅 (西武新宿線)

編集後記

ここに京悠会広報誌「さくらの森」第一号を皆さまにお届けします。原稿を作成する過程で、読まれる、親しまれる紙面づくりの難しさを痛感し、広報誌の大切さも学びました。また、楽しく読んでいただくためのレイアウトは、料理人の腕自慢ではありませんが、上手に盛り付ける工夫があることも理解できました。これからも皆様のお役に立つ紙面づくりに努力を重ねてまいりますので、ご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。

広報室：MI

